



2017. 11. 9 (自然センターで撮影)

メタセコイア

(スギ科メタセコイア属)

秋になると葉の色が緑色→黄色→オレンジ色→
赤っぽい褐色かっしょくへと変化していくので、その様子を
楽しむことができます。紅葉した葉は、やがて側枝そくし
ごと落ちます。メタセコイアは「生きている化石」
としても有名で、1941年に三木茂博士しげる（香川県
出身）が100万年以上も前の粘土層から未知の
針葉樹しんようじゆを発見しメタセコイア属として発表しまし
た。絶滅ぜつめつしたと考えられていましたが、4年後中国
でわずかに生き残っているものが発見されました。